

# 平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年10月31日記入

基本目標	学びあいたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	15130
政策名(章)	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります	評価担当部	生涯学習部
基本施策名(節名)	第1節 生涯学習の推進	評価担当課	生涯学習課
施策名	生涯学習関連施設の整備	課長名	高橋 誠司

## 1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

地域における生涯学習を推進するため、生涯学習関連施設の整備・充実に努める。  
市民の多様な学習活動に応える一環として、大野南公民館の増床を実施するとともに、平成16年策定の改修に関わる指針に基づき、昭和50年代前半に建設された公民館の改修を順次進めていく。  
また、市民の学習活動に支障を生じさせないように施設整備・補修を実施しているが、施設の老朽化が進み、公民館のほか、市立図書館、博物館の維持補修費用が増大しています。

## 2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		88,044	橋本図書館施設整備事業完了のため396,445千円の減額 図書館の来館者用トイレの改修による増額
人件費		14,329	
市民一人あたりの事業費	807	154	
合計	497,298	102,373	

\*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

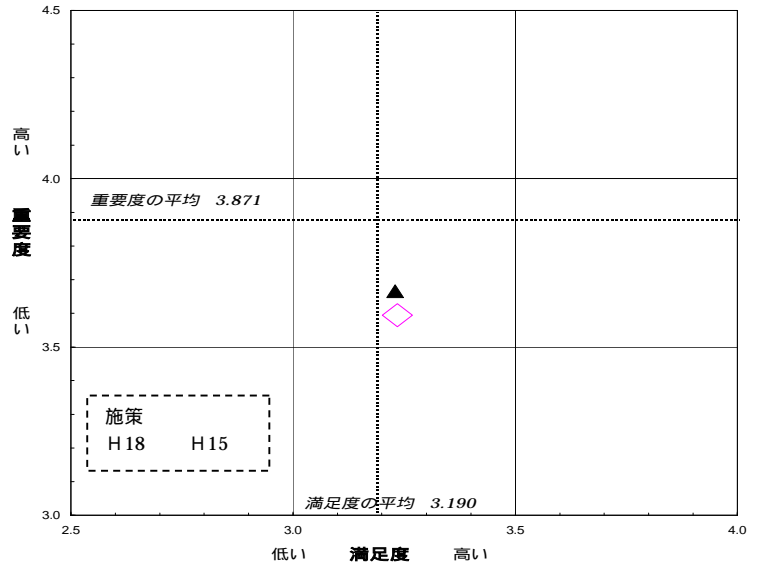
## 3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	公民館の増築・増床率 整備済館 / 計画館 × 100	整備済み館 / 計画館 × 100	1(館)	H17
指標2	平成16年度修繕対応数(営繕課設計分) / 平成16年度修繕希望数(営繕課設計分) × 100	修繕対応数 / 修繕希望数 × 100	49(%)	H17
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	1 / 1	H19	3(館)	H20	4(館)	平成20年度までに大沢、田名、新磯公民館の大規模改修を実施
達成率	100%					
指標2	49 / 49.4	H19	59(%)	H21	64(%)	平成22年度までに、修繕希望数の70%の対応を目標とする。
達成率	100.8%					
指標3						
達成率	#DIV/0! %					
指標4						
達成率	#DIV/0! %					
指標5						
達成率	#DIV/0! %					

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.234で51施策の中で18番目。  
 重要度は3.595で41番目である。  
 改善要望度は - 0.2262で43番目である。  
 年齢別にみると、満足度、重要度ともに60歳代以上で高く、40歳代でもっとも低くなっている。  
 前回調査と比較すると、満足度、重要度とも施策の順位に大きな違いはみられない。  
 満足度の順位では、60歳代で前回調査より大幅に上がり、20歳代、70歳以上で下がっている。  
 重要度の順位では、20、30歳代で前回調査より下がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	大野南公民館の増床により、地域住民がより充実した学習活動を行う場として有用に活用されている。 図書館は築後30年以上を経過し、故障の多かった来館者用トイレを改修し、快適に利用していただけになった。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	4 ② 1	公民館の施設修繕については、緊急度の高いものから対応し、できる限り必要最小限の範囲での修繕を実施している。 図書館については必要最少限の改修・修繕を行って、利用者の安全・快適性を確保している。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 ② 1	公民館利用者の要望等をもとに修繕を実施するとともに、大規模改修の実施にあたっては、地元要望を最大限に反映することとしている。 市立図書館利用者からの要求が多い部分の改修・修繕を優先的に行っているが、老朽化した建物であるため、十分ではない。	
合計		8	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 B

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	公民館は年々施設の老朽化が進み、今後予算面の対応が課題となる。 市立図書館は、老朽化が激しく改修すべき箇所が多々あり、利用者に満足していただける維持管理は困難な状況である。
解決策	公民館は現在計画されている館以外の修繕計画を策定し、計画的な修繕を進めていく。 市立図書館は大規模改修や再整備を視野に入れ計画的に管理する必要がある。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

成果をあらわす指標の設定が難しい施策であるが、合併による影響も考慮しつつ施策の推進を図る必要がある。	2次評価 B
--	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向



